

ブラジル日本商工会議所
会頭 近藤 正樹 様

謹啓

秋涼の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび九月二日に、内閣官房長官を拝命し、就任いたしました。早速にご丁寧なるご祝意、ご芳志を賜り、ありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

思い起こせば昨年の秋は、厚生労働副大臣を拝命し、年明けに幹事長代理、その後、震災が起こり、激動の一年でした。今回は、生活パターンが一変。今までは裏方といえるような役割が主でしたが、二度の記者会見もあり、表に出る仕事に未だにペースが取れず、追われるばかりで、お礼を申し上げるのが遅くなってしまいましたこと、お詫び申し上げます。

今回は、内閣官房長官拝命で、野田総理の女房役といわれる職に取り組ませていただくことになりました。記者会見と危機管理以外の部分は、国民の皆さま方からは見えにくい仕事かもしれませんが、内閣の調整役として、総理を陰ながら支える役として、時代劇に出てくるような長屋に住まう浪人を支える賢い奥方のように総理を支えられたらと考えております。

今後、国民の皆さまの生活を第一に考え、内閣の一員として、真摯に取り組んで参りたいと存じます。関係各位におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもってご挨拶とともにお礼申しあげます。

敬白

平成二十三年秋

内閣官房長官

衆議院議員

藤村

修

Recebemos em
13/10/2011
近藤